

令和2年度運営推進会議録

記録者(職種)高橋美紀子 心春管理者

開催日 令和 3年 3月 16日

開催場所 ゆーとりあ内会議室

開催時間 10:30~11:30

開催回数 2回

	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名
会議出席者	保険者	秋本 有子	地域代表	小笠原 憲昭	利用者家族代表	柳館 由紀江
	通所介護班班長	和田 玲子	心春職員	野呂 由実子	心春管理者	高橋 美紀子
検討内容など	1. 心春の運営状況・現状について					
	昨年4月~3月までの一日平均利用者数6.6人に対し今年度は7.2人となっていて、若干増加している。					
	今現在登録利用者数20名、週間利用人数別では月・水・金は若干空きはあるがその他の曜日は定員に達している曜日もある。					
	これは6月にほっとりが休止になった事に伴い利用者の移行があり、更に新規利用者も増えた事が増に繋がった。					
	現在朝食提供利用者はいないが、洗濯提供利用者は2名デイで洗濯された衣類に着替える事で清潔保持が出来ている。					
	2. アクシデント・ヒヤリ報告について					
	薬に関しては、大事故に繋がりがねないのでスタッフ間でしっかり検証・確認し合い再発防止に努めたい。					
	ヒヤリに関しても気付きや確認不足から起きた件があり、今一度気を引き締めて業務にあたり「報・連・相」を徹底して安心・安全に					
	利用してもらえる様、努めていきたい。					
	3. 10月からの活動					
長引くコロナ禍で外出も控え、紅葉ドライブも車中から見学し秋を感じてもらった。利用者が室内でも楽しめるように、皆で制作できる						
ちぎり絵制作やおやつ作り、ペットボトルを使用して体操をしたり音楽に合わせて手踊りしたりと工夫をした。また、お正月飾り、ツリー						
飾り、ひな人形作りと季節を感じてもらえるように取り組みを行った。						
送迎時には体温測定し、来所時や外出後は手洗い・歯磨きを徹底し感染予防に努めた。						

検討内容など	<p>4、今後の取り組みについて</p> <p>* 地域との関わり</p> <p>コロナウイルス感染予防の為、地域との交流はほとんど持っていない状況。今後のコロナウイルス感染状況を見ながら地域との関わりを考えていきたい。暖かくなってきたので状況を見ながら近隣の散歩や東屋でのレクやおやつタイム等、外に出る機会を作りたいと思っている。引き続き地域の方々の見守りをお願いしたい。</p> <p>* 今後の心春として</p> <p>スタッフ人員不足から、今年3月より週3回程度おかずを外注し昼食作りと併用しながら提供している。これからも安心・安全で楽しい昼食提供に努めていきたい。今後心春に出来る支援を更に検討しサービスの質の向上に努めたい。</p>
	<p>質疑・応答</p> <p>・小笠原さん～要介護5でも施設は利用できるのか。</p> <p>(心春)～機械浴が無いので入浴はストレッチャー使用でシャワー浴だが、身体機能が低下しても通い慣れた施設の利用を継続してもらい、出来る限り家族の要望に近づけるように安心・安全を心掛け利用してもらっている。</p> <p>(柳館さん)～元気に歩いていた頃から心春にお世話になっている。父親の介護を充分出来なかった事もあり母はしっかり介護したい心春には大変難儀を掛けているが、心春を利用出来ている事によって安心して仕事が出来ている。有り難い。</p> <p>(秋本さん)～介護5には身体的5と認知的5がある。要介護状態となっても在宅で生活できるように在宅支援に力を入れているが、施設も含めヘルパーも人材不足で使いたいサービスが使えていない所もあり、厳しい状況である。</p>
質疑・応答	<p>・小笠原さん～社協より、地域見守りを協力できる人が居ないか要望された。見てもらいたい人は沢山いても見守れる人が居ないのが現実。民生員、町内会長だけでは限界がある。</p> <p>(秋本さん)～担い手さんも不足していて、地域で見守ってくれる方も不足している状況。</p> <p>・秋本さん～コロナウイルス関連で休んでもらった利用者はいたのか。</p> <p>(心春)～孫さんが出産の為帰省されたり、娘さんが帰省されたりと3人ほど2週間利用を控えてもらった。今は東北6県感染が少ないので利用を控えてもらう事はしていないが、関東近郊圏への往来では1週間利用を控えてもらう事としている。</p>

<p>質疑・応答</p>	<p>・心春～例年であれば避難訓練も近隣、地域の方々に協力をしてもらい行っていたが、コロナウイルス感染予防で心春のみで行った。 今年も地域との交流は厳しいと思われる。 (小笠原さん)～上小坂としては今年いっぱい行事は中止とする考えである。</p>
<p>結論</p>	<p>コロナウイルス感染に気を付けながら、今後も地域とうまく繋がりを持ち積極的に町や地域の方達に認知症や心春を知ってもらい、理解してもらえるように努力していく。</p>
<p>残された課題</p>	<p>感染(コロナウイルス、インフルエンザ等)から利用者を守り安心・安全に利用して頂く為に、感染対策をどのようにしていくか。 利用者一人一人のニーズや家族の希望に応えられる支援や、スタッフの体制作りを検討する。 (次回開催時期)令和3年9月予定</p>